

戦略的アセットマネジメント計画 (SAMP)

- 1 ISO55001ではSAMPの具体的な要求は明記されていない
- 2 SAMPと他のAM目標/AM計画などとの相互関係の記述が主体である
- 3 このため、SAMPの具体的な内容は、ISO 55000, 55002の記述と55000シリーズ以外のAM文献で探るしかない

ISO 55000ではSAMPは次のように定義されている

3.3.2

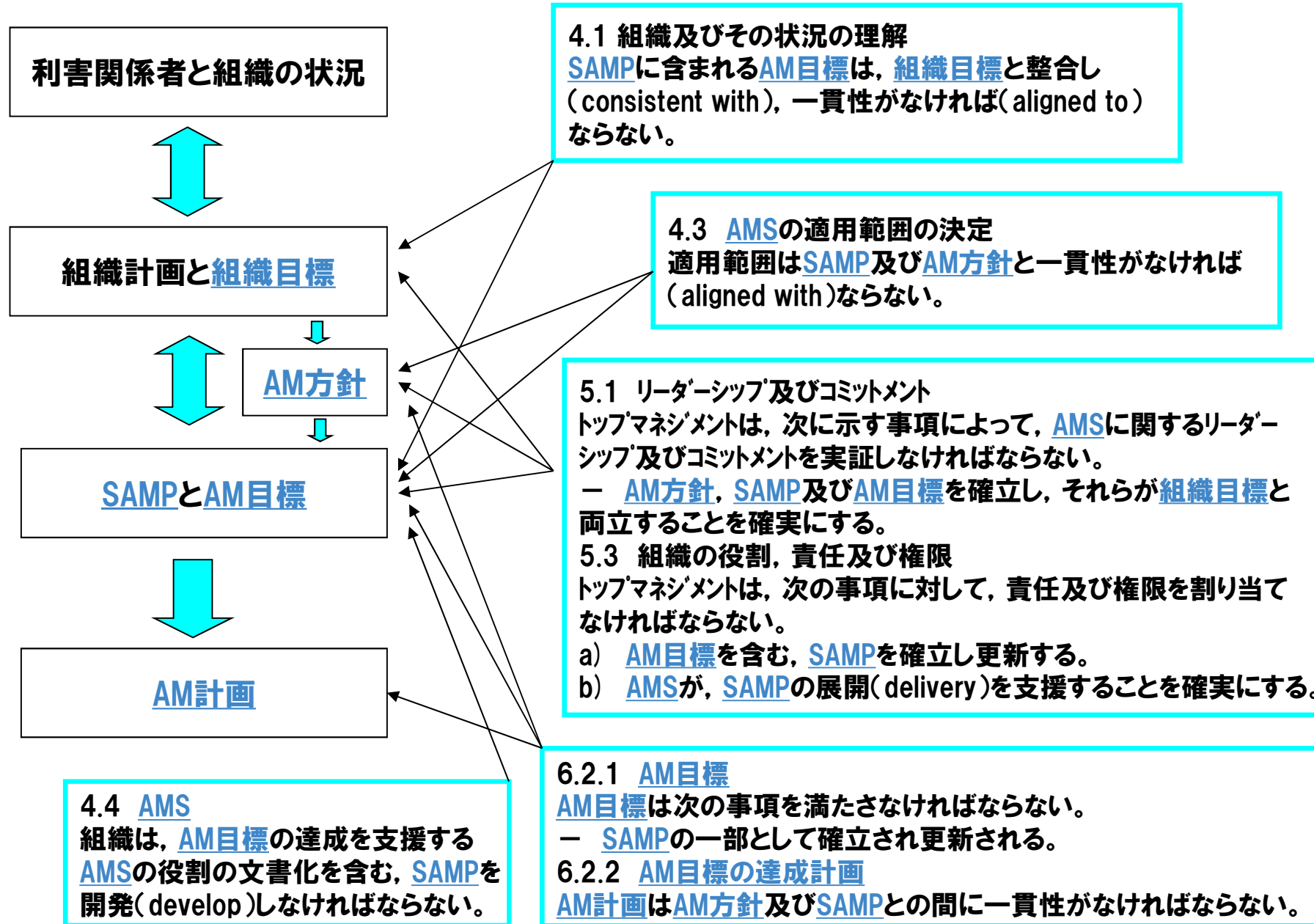
Strategic asset management plan

SAMP

documented information that specifies how organization objectives are to be converted into ① asset management objectives, ② the approach for developing asset management plans, and ③ the role of the asset management system in supporting achievement of the asset management objectives

組織目標が、① AM目標に、② AM計画を開発するための取組みに、及び③ AM目標達成を支援するAMSの役割に、どのように変換されるかを特定した文書化情報

SAMPのISO 55001での要求事項と図解



戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)の概念

組織目標 組織計画		AM分野 の 抽出	戦略的AM計画 (SAMP)	個別 アセット への 展開	AM計画 (AMP)		
地方公共団体 (仙台市の例)	民間事業者 (水ingの例)				A処理場	B処理場	管路
市政方針	社長事業方針	➡	AM目標 下水道ビジョン サービスレベル	➡	個別 アセット 目標 KPIなど		道路 陥没 事故 削減
外的課題 (震災からの復興) 内的課題 (人、物、金、IT等)	外的課題 (市場、競合等) 内的課題 (人、物、金、IT等)	➡	下水道事業の 現状と課題 O&M事業の 現状と課題	➡	監視 測定 分析 評価		50年 以上 経過 80%
上記のための 諸計画 (減災、省エネ、自立 自助、経済活力)	開発、生産、人員、 IT、資金など	➡	適用範囲 意思決定基準 個別AM計画へ の包括的な指針 アセットポートフォ リオごとの指針 予算計画との 整合方針	➡	点検 保守 更新 などの プロセス 実施の ための 予算 計画		

SAMPに関する記述(ISO 55002)

4.1 組織及びその状況の理解

4.1.1 概要(補足:SAMPが含むべき内容)

SAMPを開発するときに、組織は次の事項を行うべきである。

- a) 利害関係者の期待と要求の考慮
- b) 組織のルーティーン計画期間を超えた活動、また定期的にどの項目をレビューするかの考慮
- c) アセットに関連する意思決定基準(decision making criteria)を確立するプロセスの明確な文書化

4.2 利害関係者のニーズと期待に対する理解

利害関係者のニーズと期待は文書化され伝達されるべきである。これは、SAMP内で利害関係者のニーズとして記載されても良い。

4.1.1 概要(補足:SAMPの文書化の形態)

小さな組織のための組織計画は下記の節に分かれた一つの文書(document)であっても良い。

- 組織目標
- SAMP
- AM計画

これとは違って、組織計画は、SAMPと分離されていても良い。そして、SAMPはAM計画を節(subsection)として含んでいても良い。

あるいは、全ての3計画(組織計画、SAMP、AM計画)が分かれていても良い。SAMPとAM計画を区別することが必要な場合でも、互いに別々に文書化することは、ISO 55001の要求事項ではない。

4.3 AMSの適用範囲の決定(補足:SAMPに含まれていても良い)

組織の状況と利害関係者のレビュー(4.1及び4.2参照)の成果に基づいて、組織は、AMSの境界を定義(あるいはレビュー)し、適用範囲(scope)を確立すべきである。

AMSの境界と適用可能性は、適用範囲の記述(SAMPに含まれていても良い)に表現されるべきである。

戦略的アセットマネジメント計画 (SAMP) の要素例

【下水道ビジョンにみられるSAMPの要素例】

- ・構築した台帳システムを効果的に活用し、計画から管理までの PDCA サイクルを確立することで、常に業務の見直しや改善を進め、サービスの向上、事業の効率化を図ります。
- ・建設から 30 年を経過した管きよの管路調査と処理場・ポンプ場の老朽度調査を行い、下水道台帳システムを利用して「A市公共下水道長寿命化計画」を策定し、予防保全型の改築更新事業を実施します。

(A市: [課題](#), [目標](#))

- ・ライフサイクルコストの最小化と投資の平準化を図るため、発生対処型から予防保全型の維持管理への転換を図り、施設の計画的かつ効率的な管理手法を考慮のうえ「下水道長寿命化計画」を策定し、施設の長寿命化を進めます。

- ・施設の長寿命化を進める中で、経営管理の視点を盛り込み、アセットマネジメントに本格的に取り組めます。

(B市: [目標](#), [施策](#), [AM表明](#))

- ・下水道施設を資産と捉え、計画、建設、管理など下水道事業の各段階における事業マネジメント手法の構築により、LCC(ライフサイクルコスト)の最小化と資産価値の最大化を目指し、健全な下水道経営の確立を図ります。

- ・公営企業会計化とは、これまでの官庁会計方式(単式簿記)に替えて民間企業会計方式(複式簿記)を取り入れて、全ての費用・収益と全ての資産・負債などの増減を毎年整理した決算報告書(財務諸表)により経営状況を明らかにするものです。より透明性が高い経営手法のもとで、下水道事業の全体像を把握して、一層の経営基盤強化を目指します。

- ・下水道事業の地方公営企業法の適用にあたって、そのための前提条件となる膨大な下水道事業関連資産(管渠・ポンプ場など)の調査・評価業務に取り組んでいきます。

(C市: [課題](#), [目標](#), [施策](#))